

世界の行政官×将来を担う大学生が

長崎の過去・現在・未来を考える！

JICA九州では、2019年度より開発途上国の未来を担うリーダーとなる人材に、九州ならではの特徴や強みを紹介し、文化や歴史についても学んでいただく「地域理解プログラム」を提供しています。昨年度に続き、今年度も「長崎の過去・現在・未来」をテーマに、長崎県立大学と共同で実施します。

本プログラムでは、世界の行政官と県立大学の学生が長崎に集まり、今日的な課題とその解決に向けた施策等について共に学ぶことで新たな価値や共創を生み出すことを期待しています。

【参加予定者出身国】

タンザニア、エスワティニ、ケニア、エジプト、ジンバブエ、ガーナ、コンゴ民主共和国、ニカラグア、ソロモン諸島、インドネシア、セントルシア、フィジー、ミャンマー

【プログラム日程】

別添のとおり。

※取材をご希望の方は以下までお申し込みください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA九州研修業務課 尾形/衛藤 TEL 093-671-8346/ 080-7145-2588(サブ) FAX 093-671-0979 E-mail : Ogata.Yoji@jica.go.jp / Eto-Noa@jica.go.jp (@は半角に置き換えてください)

以上

別添:地域理解プログラム「海外に開かれた長崎:過去・現在・未来」実施概要

JICA Nagasaki Co-Creation program 2023
地域理解プログラム「海外に開かれた長崎：過去・現在・未来」

1. 背景

- 地域理解プログラムは、開発途上国の未来と発展を支えるリーダーとなる人材を対象に、欧米とは異なる日本の近代化と戦後の援助実施国としての経験の両面を学ぶ機会を提供する JICA 開発大学院連携プログラムの一環として、2019 年度より JICA の各国内機関によって開始されたプログラムである。
- 2022 年度は、北九州プログラム（公害対策史）に加えて、長崎県立大学との連携覚書に基づき、標記プログラムを同大学と共同で実施。
- 2023 年度も前年に続き、長崎県立大学との連携覚書に基づき、同大学と共同で実施する。

2. 目的

- (1) 長崎県内における地方創生に関する今日的な課題とその解決に向けた最新の戦略や取組について学ぶ。また、これら課題/取組がグローバルな課題/SDGs の課題や取組にも繋がっていることを理解する。
- (2) 被爆地としても知られる長崎の原爆の被害がどのようなものだったのかを学ぶとともに、力強く復興した姿および復興に携わった人々の思いに触れ、改めて平和の尊さを感じる。
- (3) 本プログラムに参加する参加者間での交流や意見交換を通じ、多様な意見や価値観があることを理解する。

3. 実施時期

- 2024年3月4日（月）～3月8日（金）

4. 実施体制

- 運営：JICA 九州、長崎県立大学
- 参加者：九州圏内の大学に在籍する JICA 長期研修員のうち 15 名
長崎県立大学学生 10 名、JICA 関係者

5. 日程概略 ※一部変更可能性あり。

【3月4日】

- オリエンテーション・アイスブレイク
- 長崎県庁訪問（長崎県庁国際課）
長崎県の基礎情報、長崎県の戦略（総合計画チェンジ&チャレンジ2025）、取組・施策事例（特に多文化共生）について学ぶとともに、「多文化共生」について意見交換を行う。
具体的に、JICA 長期研修員が普段生活する上で感じる課題等、外国人居住者として生の声をフィードバックするとともに、今後の施策について意見交換を行う。
- ナガサキ・ユース代表団による「平和活動」に係る講義及び意見交換を行う。

【3月5日】

- 原爆資料館・平和記念公園等訪問
- 長崎スタジアムシティ周辺見学
スポーツ×地域創生の取組事例や[長崎スタジアムシティ構想](#)について学ぶとともに、スタジアム周辺を見学。

「長崎スタジアムシティプロジェクト」とは、ジャパネットグループがサッカースタジアムを中心にアリーナ・オフィス・商業施設・ホテルなどの周辺施設を民間主導で開発するプロジェクトで、開業後約1年間で約963億円の経済波及効果を見込んでいる。徹底的に来場者の目線でこだわり抜いた施設、日常に開かれた開放的な空間、施設全体の回遊を生む遊環構造、次世代のための環境への配慮など長崎から世界初のような創造を目指す。

※講師は日本語で実施予定。

【3月6日】

- 五島市役所訪問
五島市の基礎情報、今日的な課題、IT/ICT・環境等分野等における先進的な取組（地域づくりの社会的側面含め）について学ぶとともに、同分野において意見交換会を実施。
※講師は日本語で実施予定。

【3月7日】

- 九州大学工学研究院清野准教授による「五島における森林保護、つばき産業と環境」をテーマとした講義や「海洋プラスチック」に関するフィールドワーク（ごみ拾い体験含む）等を実施する。

【3月8日】

- [そらいいな株式会社](#)訪問
ドローン飛行見学：30分
同社の事業概要や五島での取組等に係る講義：1時間（質疑応答含め）
「新しい国際的な社会課題（高齢化）に対して、JICA 長期研修員等の出身国ではこれからのどのような備え・対策ができるか」についてディスカッション：1.5時間
※講師は英語で実施予定。

以上